



【取組4-5】日本語ボランティア入門講座・ブラッシュアップ講座(栄区・戸塚区)

運営受託:(公財)横浜市国際交流協会

テーマ	日本語ボランティア講座 ①入門講座 ②ブラッシュアップ講座 ③実践報告会(振り返り会)
講師	嶋田和子氏(①入門講座・ ②ブラッシュアップ講座) ※③実践報告会(ファシリテーターYOKE)
日時・場所	①入門講座:2025年11月26日(水)、12月3日(水)、12月10日(水) (全3回) ②ブラッシュアップ講座:2025年12月22日(月) (全1回) ③実践報告会:2026年2月9日(月) (全1回) 場所:栄区役所 会議室
対象	①入門講座:日本語ボランティアや多文化共生に興味・関心がある方 ②ブラッシュアップ講座:日本語学習支援をしている方 ③実践報告会:入門・ブラッシュアップ講座受講者 (主に栄区・戸塚区在住の方)
参加人数	①入門講座:15人 ②ブラッシュアップ講座:21人 ③実践報告会:5人

【事業概要・趣旨】

地域の日本語学習支援に関心のある方を対象に、多文化共生の視点や外国人住民との関わり方、日本語学習支援の基礎を学ぶ入門講座を実施した。また、すでに地域で活動している支援者向けに、実践力向上を目的としたブラッシュアップ講座を開催した。さらに、両講座の2~3か月後に実践報告会を行い、受講者の振り返りや情報共有・意見交換を通して活動のフォローアップを行った。

【目的・目標】

①入門講座

区内の多文化共生について知り、地域日本語教育の基本的な考え方や日本語学習支援活動について学び、地域の日本語学習支援活動につながることを目的とする。

②ブラッシュアップ講座

地域日本語教育の新しい動きや学習支援活動へのヒントを得ることを目的とする。

③実践報告会

入門講座・ブラッシュアップ講座受講者の講座参加の振り返り、意見交換、今後について話し合い、活動へのフォローアップをすること目的とする。



【取組4-5】日本語ボランティア入門講座・ブラッシュアップ講座(栄区・戸塚区)

企画・運営：(公財)横浜市国際交流協会

【実施した事業プログラム内容】

①入門講座：日本語ボランティア in 栄

<第1回>

地域日本語ボランティアとは

日本語支援の現状と意義について学ぼう

- ・地域日本語教育の流れ
- ・地域日本語ボランティアとは？
- ・事例から学ぶ日本語支援の意義
- ・日本語支援者と「やさしい日本語」
- ・多文化共創のための「日本語支援」

<第2回>

日本語って面白い！

- ・日本語の特徴を考えてみましょう
- ・「日本語」を少し詳しく見てみると…

<第3回>

人・社会とつながる日本語とは？

多様な日本語学習支援について考える

地域日本語教室の方との交流



【参加者の声】

日本語を「教える」というイメージから横並びの共に学び合う関係であるべきという印象が変わった。

一緒に生活する仲間として関わっていけるようになりたい

【成果】

講座全体を通して、多文化共生の視点や具体的な支援活動の例を取り上げることで、地域の日本語学習支援のイメージがつかみやすい内容となった。受講者からは「活動を始めてみたい」という前向きな声が多く聞かれ、活動への意欲形成に寄与したと考えられる。また、少人数での実施により、講師と受講者とのやり取りが丁寧に行われ、受講者一人ひとりの理解状況を把握しながら進めることができた。広報を通じて複数区から参加があったことから、地域に日本語学習支援に関心を持つ層が一定数存在することも確認できた。



【取組4-5】日本語ボランティア入門講座・ブラッシュアップ講座(栄区・戸塚区)

企画・運営：(公財)横浜市国際交流協会

【実施した事業プログラム内容】

②ブラッシュアップ講座：日本語ボランティアブラッシュアップ講座
日本語教育の動きを知り、より良い教室づくりをめざそう！
～教材を見る目、使う力を養う～

- ・新たな日本語支援の流れを知る
～「できること」を大切にした実践～
- ・教材(生教材)を見る目、使う力を養う
～いきいきした教室づくり～
- ・楽しく、効果的な漢字学習に向き合おう
～「漢字は友だち！」にするには？～



【参加者の声】

教材選び・生活の中から学習の
ヒントを得て、教材に使えるも
のを考える習慣をつけたい

学習者にたくさん話してもらい、
自律的に学べるようにしたい

【成果】

講座では、身近な教材をどのように捉え活用するかを学び、活動経験者にとっては日頃の支援を振り返り、今後の活動に生かす視点を獲得する機会となった。実践者同士が経験や考えを共有することで、活動の具体像がより明確になり、支援の在り方を多角的に考える場ともなった。また、今回のブラッシュアップ講座は、多文化共生の視点から教材を見る目・使う力を養う内容であり、入門講座受講者にとっても参考になると考え、参加を促した。講師も両講座のつながりを意識した構成で対応してくださり、入門講座受講者が戸惑う様子はなく、むしろ既に活動している受講者との交流が生まれた。受講者からは、講座を通じて新たな気づきや活動への意欲が高まったとの声も寄せられ、地域における日本語学習支援の理解促進につながったと考えられる。



【取組4-5】日本語ボランティア入門講座・ブラッシュアップ講座(栄区・戸塚区)

企画・運営：(公財)横浜市国際交流協会

【実施した事業プログラム内容】

③実践報告会：「講座に参加して、・・・」を話してみよう

- ・自己紹介(自己表現活動「わたしの好きなもの・こと」をもとに)
- ・講座の振り返り
(講座受講・活動開始時の動機・受講してみたの感想など)
- ・『「できた」のその先を考える』

～学習者に「何を教えるか」ではなく学習者の生活の中で「何につながるか」を考えながら関わる視点～

- ・未来の自分への一言

【成果】

実践報告会には活動経験の異なる参加者が集まり、講座の振り返りと『「できた」のその先を考える』のワークを通して、日頃の支援を見直す機会となった。学習者を見る視点を揺さぶる問いや事例を用いた構成により、活動への不安や迷いを整理し、今後の関わり方を考えるきっかけが生まれた。ボランティア同士が経験や思いを共有することで、自身の取り組みの方向性を確認できたとの声もあり、個々の思いが自然に表出する場としての意義が確認された。

【今後に向けて】

入門講座・ブラッシュアップ講座・実践報告会の一連の取組を通じて、受講者が「活動を始めてみたい」という段階から、「具体的に活動を考える」「実際の場面で活かしたい」と意識を深めていく様子が見られた。活動につながった人数だけでは測れない、受講者の意識変化を把握できたことは、今後の講座や実践報告会の在り方を検討する上で重要な示唆となった。また、地域には日本語学習支援に関心を持ち、社会とのつながりを求める方々が一定数存在することが確認でき、こうした方々が地域で活躍するきっかけを提供する意義が改めて認識された。さらに、未設置区での講座実施においては、実施区・教室・YOKEとの連携を強化しながら、より効果的な講座展開を図る必要性が示された。今後は、講座受講者が地域の日本語学習支援活動に参加しやすい仕組みづくりや、未設置区における関係機関との連携を強化していきたい。